

昭和63年 茨城県の人口

はじめに

この調査結果は、茨城県常住人口調査規則に基づき、市町村から毎月報告を受け、「茨城県の人口と世帯(推計)」(月報)等により公表した結果について、昭和63年分をとりまとめたものです。

人口の動向 (表一1, 図一1)

- 63年中の増加数は27,883人、増加率は1.00%で2年続いて前年の増加数、率を上回る。

本県の人口は、昭和63年中に27,883人増加し、昭和64年1月1日現在で、2,804,700人となった。人口増加率は1.00%である。人口の増加は昭和58年から61年まで前年を下回っていたが、今回は62年に続いて数、率とも前年を上回り、また、4年ぶりに1%台となったのが顕著である。

男女別人口は、昨年中に男子が13,561人(増加率0.98%、女子が14,322人(同1.03%)、それぞれ増加し、昭和64年1月1日現在で、男子が1,397,513人、女子が1,407,187人となっている。この結果、性比(女子100人に対する男子の割合)は99.3となっている。

地域、市町村別人口 (表一2)

- 17市50町村で人口が増加、減少したのは3市18町村。

県内を4地域別に人口増加をみると、4地域全てで人口の増加を示し、県南地域が17,897人(増加率2.16%)で最も大きく、以下、県北地域4,169人(同0.37%)、県西地域4,152人(同0.75%)、鹿行地域1,665人(同0.65%)の増加である。増加率を前年と比べると、県北地域、鹿行地域が低下しているのに対し、他の地域ではそれぞれ上昇している。

この結果、昭和64年1月1日現在の地域別人口は、県北地域1,140,089人、県南地域848,080人、県西地域558,495人、鹿行地域258,036人で、4地域の県人口(2,804,700人)に占める割合は、それぞれ、40.7%、30.2%、19.9%、9.2%となっている。

次に、市町村別に人口増加をみると、17市50町村で増加し、人口が減少したのは3市18町村である。増加率の高い市町村は、土浦以南の常磐線沿線及び研究学園都市に集中する傾向はここ数年変わらないが、今回五霞村(3.60%)が高い増加率を示したのが顕著で、守谷町(同11.41%)については他の市町村に比べ、極めて高い増加率となっている。増加率の高い市町村は、守谷町(同11.41%)、牛久市(同4.24%)、瓜連町(同4.12%)、三和町(同3.86%)、竜ヶ崎市(同3.74%)の順となっている。逆に、減少している市町村は、七会村の△1.49%が高く以下、桂村(同△1.06%)、美和村(同△0.98%)、水府村(同△0.94%)、山方町(同△0.92%)の順となっている。

年齢3区分別人口 (図一2・3, 表一3)

- 県人口に占める割合が年少人口20.9%、生産年齢人口68.0%、老年人口11.1%。

昭和64年1月1日現在の県人口(2,804,700人)を年齢3区分別でみると、年少人口(0~14歳)が585,397人、生産年齢人口(15~64歳)が1,906,787人、老年人口(65歳以上)が312,289人となり、県人口に占める割合はそれぞれ、20.9%、68.0%、11.1%である。

年少人口は戦後一貫して、県人口に占める割合が低下し、今回も前回より0.7ポイント低下し、数も13,968人減少している。逆に、老年人口は割合数とも、上昇を続け、今回も前回より0.3ポイ

茨城県常住人口調査結果

ント上昇(数で12,627人増加)し、一段と高齢化が進行していることを示している。この結果、本県の平均年齢も男子35.3歳、女子が37.3歳となり、この1年間で各々0.3歳高くなっている。

次に、同様に市町村別にみると、年少人口割合は首都圏のベッドタウン化の性格を持つ市町村で高く、県北西部地区の町村で低くなっている。生産年齢人口割合では常磐線沿線の市部で高くなっている。老年人口割合は高齢化の目やすとされる構成比14%を超えている市町村は2市31町村で、特に県北西部地区及び稲敷東部地区の町村で高い数値を示している。

自然動態 (図-4, 表-4)

●63年中の出生児数は30,675人、

死亡者数18,481人。

昭和63年中の自然動態は、出生児数30,675人、死亡者数18,481人で12,194人の増加となっており、増加率は0.44%である。

自然動態は昭和40年代後半に増加率1.0%台の高い水準を示したが、昭和50年代にはいつてからは一貫して低下を示し、今回も前年より0.09ポイント(数で2,309人)下回っている。

社会動態 (図-5, 表5・6)

●社会増加数15,689人、社会増加率0.56%で

62年に続いて前年の数値を上回る。

昭和63年中の社会動態は、転入者130,174人、転出者114,485人で15,689人の増加となっており、増加率は0.56%である。

社会動態は昭和40年代にはいつてから、前半は転出超過であったが、昭和43年から転入超過となり、その後、その超過数が拡大したが、昭和54年

(社会増加率1.08%)をピークに、以後、年々その増加率が低下傾向を示したが、62年より再び上昇傾向となった。今回は62年を率で0.18ポイント、数で5,240人を上回った。

社会動態を地域別にみると、県北地域のみ1,100人の転出超過であるが、他地域は、県南地域が14,502人と極めて高い転入超過で、以下、県西地域2,008人、鹿行地域279人の転入超過となっている。

同様に、市町村別にみると、転入超過が11市39町村、転出超過が9市28町村、転入、転出同数が1村という状況である。転入超過率の高い市町村は、守谷町の10.85%が最も高く、以下、瓜連町(転入超過率4.28%)、牛久市(同3.89%)、竜ヶ崎市(同3.40%)、五霞村(同3.36%)の順である。なお、数では、守谷町の2,985人が最も多い。逆に、転出超過率の高い市町村は七会村の1.20%が最も高く以下、美和村(転出超過率1.02%)、日立市(同0.96%)、真壁町(同0.85%)の順である。数では日立市の1,961人が最も多くなっている。

世帯数 (表-1・7)

●63年中に14,955世帯増加し、

1世帯当たりの人員も3.51人となる。

本県の世帯数は、昭和63年中に14,955世帯増加し、昭和64年1月1日現在で、800,259世帯となった。増加率は1.90%である。これを人口増加率(1.00%)と比べると、0.90ポイント上回っている。昭和63年10月1日現在1世帯当たりの人員も前年(3.54人)より0.03人減少し、3.51人となっている。

※ 詳細については「昭和63年茨城県の人口一茨城県常住人口調査結果報告書一」を参照されたい。

(統計課・人口労働グループ)

調査から

表一 年次・月別世帯数、人口及び人口増加 — 茨城県 —

年 月	世 帯 数			人		
	1月1日現在 世 帯 数	増 加 数	増加率(%)	1 月 1 日 現 在 人 口		
				総 数	男	女
昭和40年	420 565	3 235	0.77	2 079 699	1 021 965	1 057 734
41	448 596	5 947	1.33	2 058 692	1 009 201	1 049 491
42	454 543	7 433	1.64	2 057 847	1 009 110	1 048 737
43	461 976	12 006	2.60	2 075 303	1 019 005	1 056 298
44	473 982	16 138	3.40	2 093 742	1 029 223	1 064 519
45	490 120	17 620	3.60	2 127 828	1 047 991	1 079 837
46	512 599	16 214	3.16	2 155 411	1 061 061	1 094 350
47	528 813	11 175	2.11	2 189 998	1 079 997	1 110 001
48	539 988	14 344	2.66	2 219 975	1 095 870	1 124 105
49	554 332	17 371	3.13	2 261 292	1 117 411	1 143 881
50	571 703	14 675	2.57	2 306 086	1 141 580	1 164 506
51	593 011	11 846	2.00	2 352 197	1 164 926	1 187 271
52	604 857	12 766	2.11	2 387 470	1 183 618	1 203 852
53	617 623	17 279	2.80	2 425 327	1 203 796	1 221 531
54	634 902	18 682	2.94	2 472 359	1 228 481	1 243 878
55	679 531	15 556	2.29	2 520 740	1 253 622	1 267 118
56	695 087	13 560	1.95	2 566 731	1 276 835	1 289 896
57	708 647	15 077	2.13	2 605 026	1 296 242	1 308 784
58	723 724	13 537	1.87	2 644 853	1 316 844	1 328 009
59	737 261	11 092	1.50	2 677 716	1 333 680	1 344 036
60	748 353	11 640	1.56	2 705 210	1 347 356	1 357 854
61	759 993	11 599	1.53	2 730 630	1 360 520	1 370 110
62	771 592	13 712	1.78	2 751 865	1 371 410	1 380 455
63	785 304	14 955	1.90	2 776 817	1 383 952	1 392 865
64	800 259	2 804 700	1 397 513	1 407 187
昭和63年 1 月	785 304	1 005	0.13	2 776 817	1 383 952	1 392 865
2	786 309	349	0.04	2 778 921	1 384 924	1 393 997
3	786 658	△1 331	△0.17	2 780 088	1 385 493	1 394 595
4	785 327	5 814	0.74	2 777 457	1 383 628	1 393 829
5	791 141	2 019	0.26	2 783 294	1 386 995	1 396 299
6	793 160	1 195	0.15	2 786 326	1 388 681	1 397 645
7	794 355	1 078	0.14	2 788 694	1 389 808	1 389 886
8	795 433	1 268	0.16	2 791 390	1 391 149	1 400 241
9	796 701	910	0.11	2 795 502	1 393 178	1 402 324
10	797 611	1 402	0.18	2 797 696	1 394 133	1 403 563
11	799 013	671	0.08	2 800 569	1 395 598	1 404 971
12	799 684	575	0.07	2 802 482	1 396 577	1 405 905
昭和64年 1 月	800 259	2 804 700	1 397 513	1 407 187

- 1) 昭和41年、46、51、56年1月1日現在の世帯数及び人口は、各々前年10月1日現在の国勢調査結果を基礎としているため、前年1月1日のそれに年間増加数を加えても一致しない。
- 2) 昭和55年以前については、増加数のうち男、女、自然増加及び社会増加は外国人を含んでいない。(総数のみ外国人を含む。)

(単位：世帯、人)

口							増加率(%)	年 月
総 数	増 男	加 女	数 自然増加	社会増加	外国人増減			
7 761	5 016	2 745	17 914	△10 153	...	0.37	昭和40年	
△845	△56	△718	9 716	△10 490	△71	△0.04	41	
17 456	9 944	7 506	20 887	△3 437	6	0.85	42	
18 439	10 212	8 093	18 136	169	134	0.89	43	
34 086	18 719	15 362	18 520	15 501	5	1.63	44	
37 330	20 682	16 731	21 014	16 399	△83	1.75	45	
34 587	19 025	15 193	23 417	10 801	209	1.60	46	
29 977	15 788	14 044	24 947	4 885	145	1.37	47	
41 317	21 578	19 755	25 271	16 062	△16	1.86	48	
44 794	24 205	20 647	25 632	19 220	△58	1.98	49	
39 059	20 944	17 992	23 386	15 550	123	1.69	50	
35 273	18 748	16 626	22 713	12 661	△101	1.50	51	
37 832	20 083	17 475	22 214	15 344	274	1.58	52	
47 032	24 640	22 313	21 553	25 400	79	1.94	53	
48 381	24 956	23 098	21 358	26 696	327	1.96	54	
43 419	22 019	21 210	19 176	24 053	190	1.72	55	
38 295	19 407	18 888	18 886	19 409	...	1.49	56	
39 827	20 602	19 225	18 725	21 102	...	1.53	57	
32 863	16 836	16 027	18 265	14 598	...	1.24	58	
27 494	13 676	13 818	17 929	9 565	...	1.03	59	
25 420	13 164	12 256	16 375	9 045	...	0.94	60	
21 235	10 890	10 345	15 238	5 997	...	0.78	61	
24 952	12 542	12 410	14 503	10 449	...	0.91	62	
27 883	13 561	14 322	12 194	15 689	...	1.00	63	
...	64	
2 104	972	1 132	651	1 453	...	0.08	昭和63年 1 月	
1 167	569	598	656	511	...	0.04	2	
△2 631	△1 865	△766	855	△3 486	...	△0.09	3	
5 837	3 367	2 470	818	5 019	...	0.21	4	
3 032	1 686	1 346	1 093	1 939	...	0.11	5	
2 368	1 127	1 241	1 065	1 303	...	0.08	6	
2 696	1 341	1 355	1 273	1 423	...	0.10	7	
4 112	2 029	2 083	1 442	2 670	...	0.15	8	
2 194	955	1 239	1 371	823	...	0.08	9	
2 873	1 465	1 408	1 238	1 635	...	0.10	10	
1 913	979	934	956	957	...	0.07	11	
2 218	936	1 282	776	1 442	...	0.08	12	
...	昭和64年 1 月	

図-1 総人口、人口増加数、及び人口増加率の推移 —茨城県—

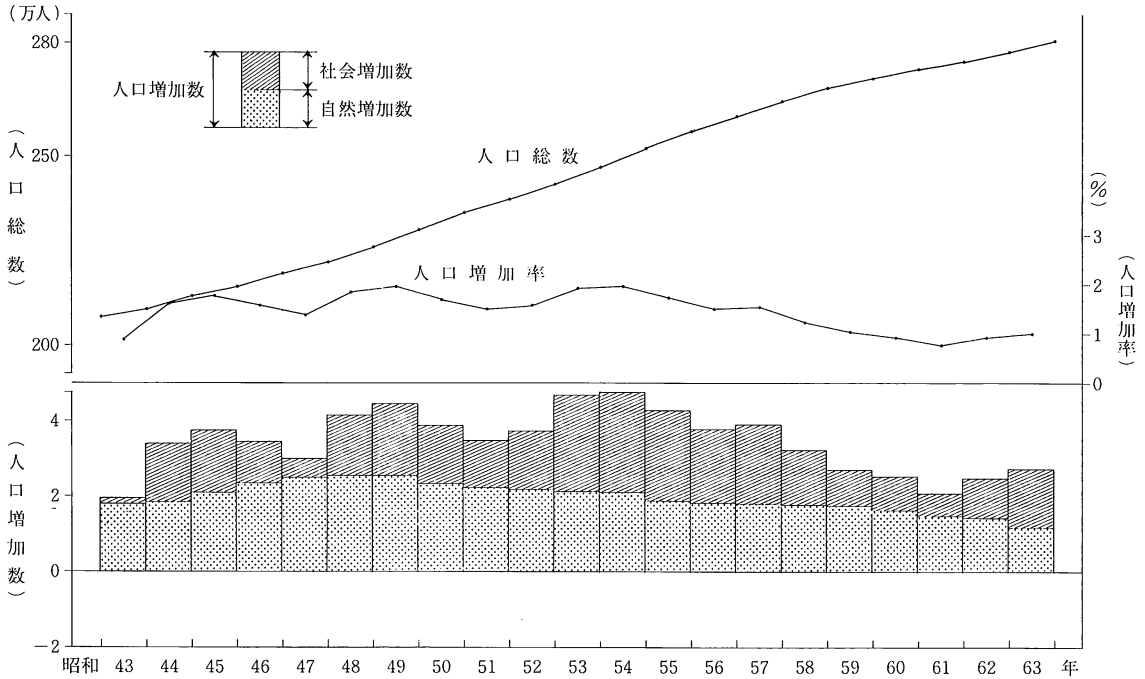
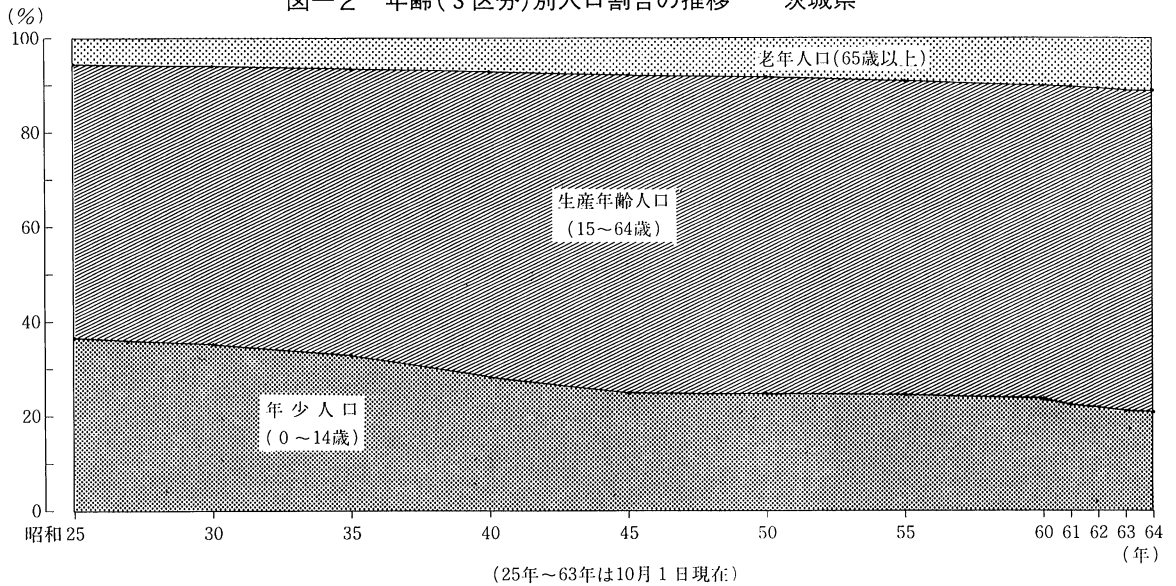


表-2 人口増加率の高い(低い)市町村

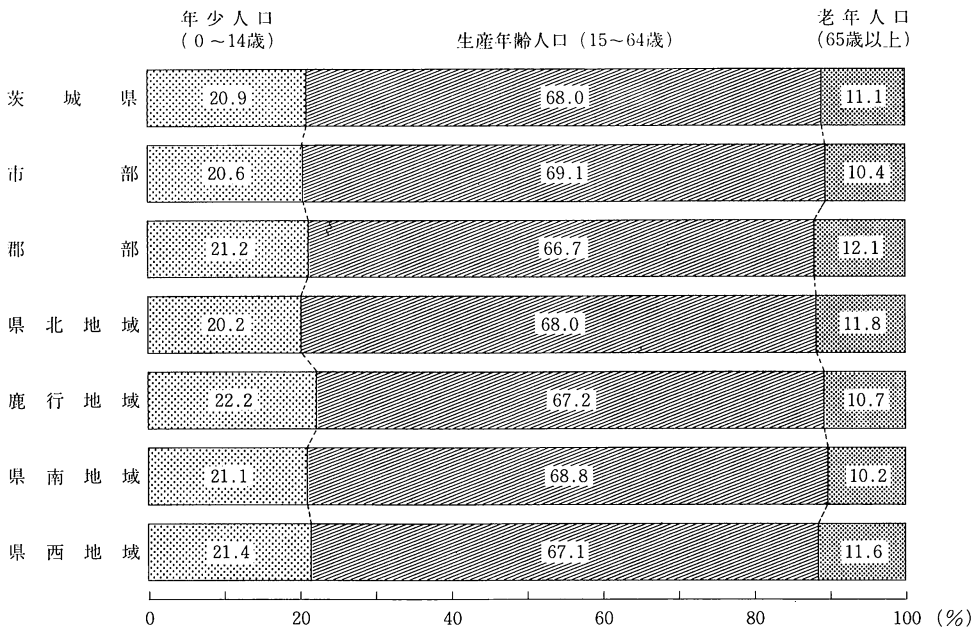
順位	上位 10 団体		下位 10 団体	
	市町村名	人口増加率(%)	市町村名	人口増加率(%)
1	守谷町	11.41	七会村	△ 1.49
2	牛久市	4.24	桂村	△ 1.06
3	瓜連町	4.12	美和村	△ 0.98
4	三和町	3.86	水府村	△ 0.94
5	竜ヶ崎	3.74	山方町	△ 0.92
6	五霞村	3.60	真壁町	△ 0.84
7	茎崎町	3.37	桜川村	△ 0.74
8	藤代町	2.81	大子町	△ 0.65
9	つくば市	2.44	麻生町	△ 0.47
10	友部町	2.04	里美村	△ 0.41

図一 年齢(3区分)別人口割合の推移 — 茨城県 —



図一 地域、年齢(3区分)別人口割合

(昭和64年1月1日現在)



注) 小数点第2位四捨五入につき100%にならないところもある。

表一三 年齢3区分別構成の高い(低い)主な市町村

(年少人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	守谷町	25.9	里美村	16.2
2	荃崎町	25.4	水府村	16.3
3	三和町	25.1	緒川村	16.7
4	神栖町	25.0	河内村	16.8
5	利根町	24.6	桂村	16.9

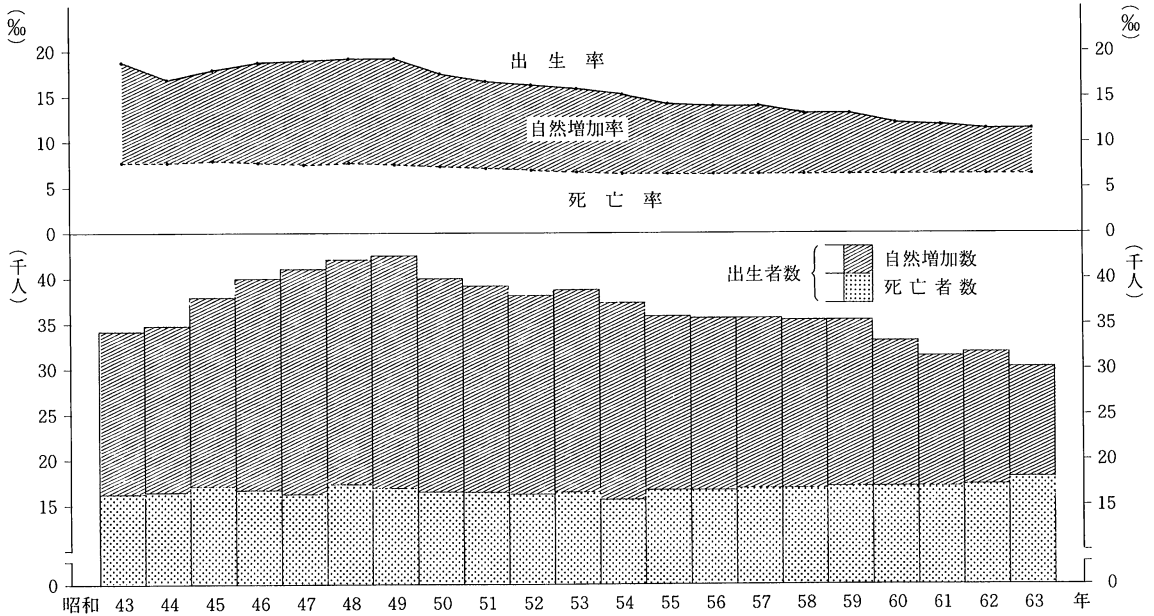
(生産年齢人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	取手市	71.0	七会村	62.0
2	古河市	70.9	緒川村	62.1
3	勝田市	70.5	御前山村	62.1
4	土浦市	70.4	里美村	62.1
5	東海村	70.2	山方町	62.3

(老年人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	緒川村	21.3	鹿島町	6.7
2	水府村	21.0	取手市	7.2
3	金砂郷村	20.5	荃崎町	7.2
4	山方町	20.1	神栖町	7.2
5	里美村	19.7	勝田市	7.3

図一4 自然動態の推移 —茨城県—



表一4 自然増加，出生，死亡率の高い(低い)主な市町村

(出生率)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	出生率(%)	市町村名	出生率(%)
1	勝田市	14.2	伊奈町	6.5
2	波崎町	14.0	利根町	6.6
3	大和村	13.4	金砂郷村	6.9
4	鹿島町	13.3	内原町	7.3
5	つくば市	13.3	茎崎町	7.3

(死亡率)

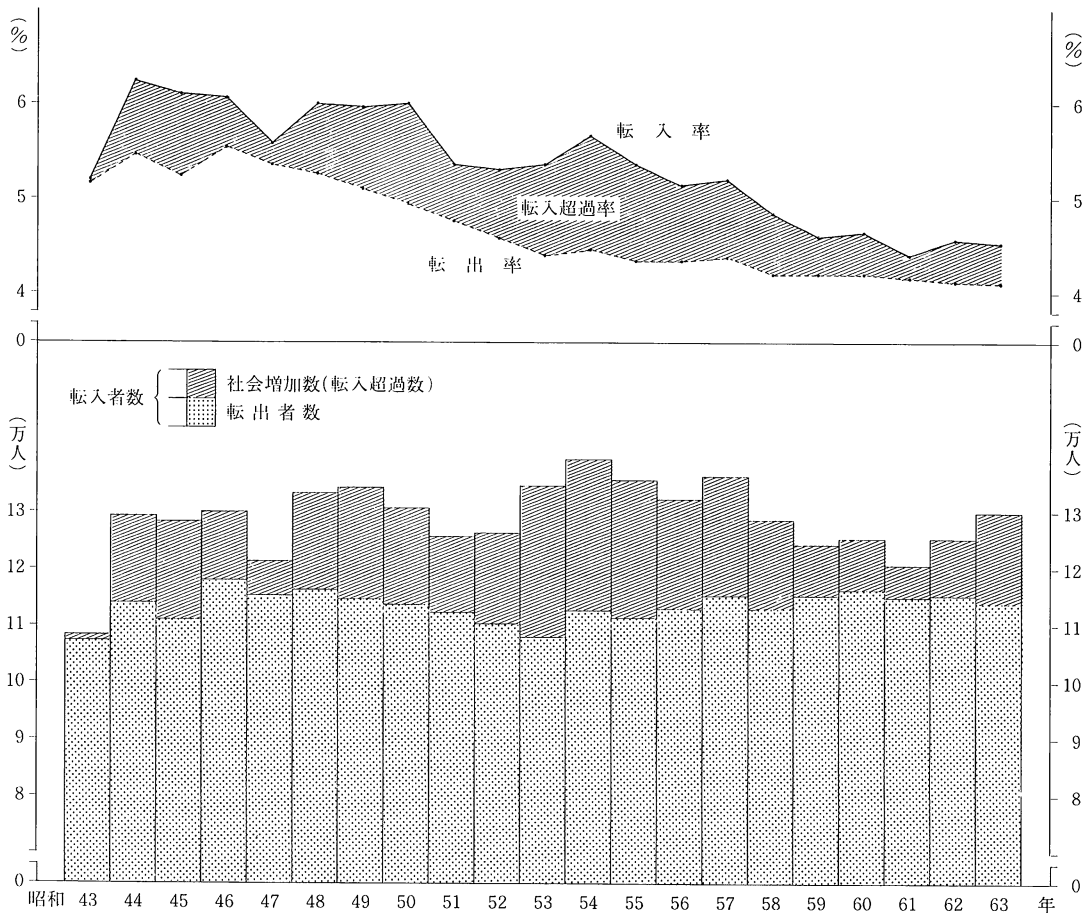
順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	死亡率(%)	市町村名	死亡率(%)
1	七会村	12.7	取手市	3.8
2	山方町	12.5	勝田市	4.4
3	里美村	12.0	茎崎町	4.9
4	金砂郷村	11.8	鹿島町	4.9
5	桂村	11.5	総和町	4.9

表一四 自然増加，出生，死亡率の高い(低い)主な市町村

(自然増加率)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	自然増加率(%)	市町村名	自然増加率(%)
1	勝田市	0.98	金砂郷村	△ 0.49
2	鹿嶋町	0.84	山方町	△ 0.36
3	神栖町	0.79	桂村	△ 0.30
4	千代田村	0.79	七会村	△ 0.29
5	波崎町	0.77	里美村	△ 0.29

図一五 社会動態の推移 — 茨城県 —



表一五 社会増加率，移動率の高い(低い)主な市町村

(社会増加率)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	社会増加率(%)	市町村名	社会増加率(%)
1	守谷町	10.85	七会村	△ 1.20
2	瓜連町	4.28	美和村	△ 1.02
3	牛久市	3.89	日立市	△ 0.96
4	竜ヶ崎市	3.40	真壁町	△ 0.85
5	五霞村	3.36	桂村	△ 0.76

(移動率)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	守谷町	19.27	水府村	4.04
2	つくば市	15.04	桜川村	4.18
3	土浦市	12.80	麻生町	4.27
4	阿見町	12.74	新利根村	4.46
5	取手市	12.19	関城町	4.58

表一六 転入・転出者の内訳 —茨城県—

		計	県外	県内	その他
転入者数	昭和62年	125 100	70 887	52 747	1 466
	63	130 174	75 404	53 128	1 642
	増減	5 074	4 517	381	176
転出者数	昭和62年	114 651	60 527	52 906	1 218
	63	114 485	60 196	53 157	1 132
	増減	△ 166	△ 331	251	△ 86
社会増加数	昭和62年	10 449	10 360	159	248
	63	15 689	15 208	△ 29	510
	増減	5 240	4 848	△ 188	262

■ 調査から

表一七 世帯数増加率等の推移 — 茨城県 —

年	人口 増加率 (%)	世帯数 増加率 (%)	世帯数 増加率		人口 増加率		一世帯 当人員 (人) (10月1日)	対前年比 (人)
			対前年比	対前年比	対前年比	対前年比		
昭和51年	1.50	2.00	△ 0.57	1.33	△ 0.19	3.95	△ 0.03	
52	1.58	2.11	0.11	1.34	0.01	3.93	△ 0.02	
53	1.94	2.80	0.69	1.44	0.10	3.90	△ 0.03	
54	1.96	2.94	0.14	1.50	0.06	3.86	△ 0.04	
55	1.72	2.29	△ 0.65	1.33	△ 0.17	3.69	△ 0.17	
56	1.49	1.95	△ 0.34	1.31	△ 0.02	3.67	△ 0.02	
57	1.53	2.13	0.18	1.39	0.08	3.65	△ 0.02	
58	1.24	1.87	△ 0.26	1.51	0.12	3.63	△ 0.02	
59	1.03	1.50	△ 0.37	1.46	0.05	3.61	△ 0.02	
60	0.94	1.56	0.06	1.66	0.20	3.59	△ 0.02	
61	0.78	1.53	△ 0.03	1.96	0.30	3.57	△ 0.02	
62	0.91	1.78	0.25	1.96	△ 0.06	3.54	△ 0.03	
63	1.00	1.90	0.12	1.90	—	3.51	△ 0.03	

注) 一世帯当人員 = 総人口 / 総世帯数

参考図 茨城県的人口ピラミッド（昭和60年10月1日現在）

